

新スタイル点描画制作

宮崎市出身画家小田原さん

ポストカード集も出版



小田原英子さん

宮崎市出身で、京都市在住の画家・小田原英子さんがロットリソングペンを使った新しいスタイル



「光という名の影」から「クウハクノヨカン」
(2000年作品)

の点描画制作に取り組ん
でいる。これまでさまざ
まな公募展で入選し、昨
年はポストカード集も出
版するなど活躍の場を広
げている。

昨年出したポストカー
ド集「光という名の影」
(ARTBOXインター
ナショナル、七九八円)
は、一九九七年から二〇

〇四年までに手掛けた作
品十六点を収録。モチー
フは、動物の骨や人形、
細胞とさまざまだが、い
ずれも〇・一ミリの点が織
りなすモノクロームの世
界が「無」を表現。その
「無」を通して相対的存
在である「有」をイメー
ジさせる。

十代のころ、樹木に咲
きほころぶ花よりも、地
に落ちた花びらに生命を
イメージしたという小田
原さんは「私の作品を見
る人たちが、精密点描の
一点一点からわき上がる
魔力に引き込まれ、私と
同じ感覚を味わうのが楽
しみ」と言う。

小田原さんは宮崎北
高、京都精華大芸術学部
を卒業。二〇〇〇年に第
十回ARTBOX大賞展
イラストレーションの部
で入選したのをはじめ、
天理ビエンナーレ入選、
マドリッドアートサロン
(スペイン) 準大賞など
の受賞歴を持つ。

また、上海アートフェ
ア、メルボルンアートフ
エアなどにも出展。アー
ティストのCDジャケット
ト、ポスターなども手掛
ける。二月二十一―二十
六日には、第十五回全日
本アートサロン絵画大賞
展入選作品が大阪市立美
術館で展示される。